

自由民主党さいたま市議会議員団

『平成28年度予算編成に対する要望と政策提案・提言について』市長からの回答（抜粋）

【主な獲得予算事業】

●上尾道路・首都高速埼玉大宮線の整備促進、埼玉新都心線の東北自動車道までの延伸について、具体的な要望事項を提示し、早期実現に向けて国への要望活動を更に強化すること。

【回答】新大宮上尾道路の整備促進については、県との連携を図りながら、国に積極的に働きかけてまいります。首都高速埼玉新都心線の延伸については、環境影響評価や都市計画決定等についての法手続きが未実施であることから、まずは早期事業化路線となるように、国に要望してまいります。

●国際イベントに対応できるように主要部における宿泊施設の充実を図ること。開催に伴い、コンベンション施設の設置や商業施設の充実を検討し、来訪者を増加できるようなプランニングを行うこと。

【回答】民間事業者との対話により課題やリスク、実現方策や運営方策についての考え方を把握するためのサウンディング調査を行っております。今後は、調査結果を踏まえた上で、事業推進のための本市の基本的方針、実現可能性のある事業フレームについて検討を進めてまいります。

●保育園、民間保育所、認可外保育施設、ナースリールーム、家庭保育室への施設整備、運営補助拡大や保育士確保に努め、相談の受け皿体制や民間との連携を更に強化して、事業所内保育など多様な形態での待機児童の早期解消に努めること。施設整備にあたっては、空き店舗の活用などについて自治会、商店会等で地域の課題を掘り下げた上で、新設整備が出来るよう施策を講じること。

【回答】認可保育所については、平成29年度の開設に向けて新設・増改築整備について助成を行う予定。保育士の人材確保を図るため、雇用する保育士

向けに宿舍借上げを行う事業者に対し、経費の一部を助成するとともに、東北、北陸地方等の保育士養成施設へ本市認可保育園等の求人情報や保育施策の取り組みなどを情報発信するプロモーション活動を実施してまいります。保育施設の整備に当たっては、商店街の空き店舗の活用について検討し活用可能な場合には、地域コミュニティを活性化する事業として支援します。

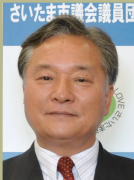
●高齢社会に対応していくため、行政の福祉政策と地域の福祉活動の機能や分担の見直しを推進し、輻輳化していく社会福祉事業を、社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会を中心に見直しをおこない、トータルで階層別機能別の効率的な福祉行政にしていくこと。

【回答】市社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会の役割分担をしながら、さいたま市第2期保健福祉総合計画に基づき、情報の共有を図りながら連携して効果的・効率的に地域福祉を推進してまいります。

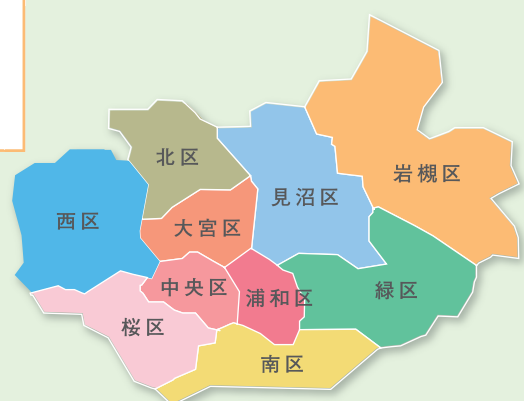
●“健康長寿”への取り組みを行うこと。自治会による日々のラジオ体操や健康ウォーキング、グラウンド・ゴルフ等スポーツ大会などの支援を行うこと。また、季節や人のライフスタイルに合わせた食生活の指導や、日常できる運動指導を、地域のイベントを通して取り組んでいくこと。

【回答】地域交流等の団体活動、健康サークル活動等を支援し、参加した高齢者に奨励金と交換できるポイントを付与する長寿応援制度を周知し、市民の利用を推進してまいります。また、グラウンド・ゴルフを通じた健康の維持増進を図るため、専用のグラウンド・ゴルフ場の整備を進めます。高齢者の生きがい・健康づくり及び介護予防活動を推進し、健康寿命の延伸に引き続き取り組んでまいります。

自由民主党さいたま市議会議員団はこれからも引き続き議会改革に取り組んでまいります。

 稲川 智美 西区宝来1547-5 TEL 621-0800	 金井 康博 西区水戸土231-5 TEL 788-2420	 関根 信明 北区日進町2-1115-5 2F TEL 664-1313	 伊藤 仕 北区宮原町3-326-1 2F TEL 668-6065
 新藤 信夫 大宮区上小町1146-3 TEL 643-6736	 渋谷 佳孝 大宮区宮町3-21 TEL 631-0055	 鶴崎 敏康 見沼区蓮沼970-13 TEL 683-0613	 中山 欽哉 見沼区深作3-4-17 TEL 683-6814
 高子 景 見沼区南中丸25-6 TEL 884-8145	 中島 隆一 中央区新中里1-7-11 TEL 832-7854	 井原 隆 中央区下落合1071-1 3F TEL 050-3418-7058	 島崎 豊 桜区町谷1-23-17-105 TEL 678-1700
 土橋 勇司 桜区宿110-4 TEL 854-7918	 青羽 健仁 浦和区元町1-32-10 TEL 884-3377	 帆足 和之 浦和区仲町4-3-10 TEL 861-2345	 玉井 哲夫 浦和区上木崎1-9-20 2F TEL 711-3721
 野口 吉明 南区大谷口2015 TEL 882-4017	 萩原 章弘 南区鹿手袋7-13-4 TEL 710-6888	 桶本 大輔 南区根岸1-6-16 TEL 865-6800	 石関 洋臣 緑区三室691-1 TEL 873-8451
 都築 龍太 緑区中尾1508 TEL 080-9825-8656	 江原 大輔 岩槻区本丸1-23-10 TEL 812-7667	 新井 森夫 岩槻区徳力86 TEL 812-7218	

【さいたま市データ】
平成28年3月1日現在
人口：1,271,348人
平均年齢：43.46歳
面積：217.43km²



あなたのまちの市民代表です

自由民主党さいたま市議団

●ご相談・ご要望は お近くの市議へご連絡下さい

Saitama City

自由民主党 さいたま市議会議員団 広報紙

平成28年
2月定例会号

■発行 自由民主党さいたま市議会議員団 さいたま市浦和区常盤6-4-4 TEL 048-829-1810・FAX 048-833-6665 ■発行責任者 新藤 信夫

●1面…平成28年2月定例会の活動報告 ●2面…平成28年2月定例会の活動報告 ●3面…平成28年度さいたま市の予算 ●4面…平成28年度予算編成に対する要望項目の回答、議員一覧



平成28年2月定例会（2月2日～3月11日 39日間）

オリンピックレガシー（社会的遺産）について

■問 オリンピック会場同士を「いかに繋ぐか」。新都心から浦和美園区間を公共交通で繋げることにについて検討を行う場を、新たに設けることについて伺います。

■答 大会後は、経済面での発展や、ゆとりある豊かな暮らしの実現など、本市発展のための大会レガシーを残していくことが重要であると感じております。大会後も見据えた、さいたま新都心駅と浦和美園駅間をEVバスやBRTなどの公共交通機関で繋げることや、無料Wi-Fiや多言語対応などにおけるICT技術の活用につきましては、本市にとって大変有益な大会レガシーになり得るものであると同時に本市の重要な課題であるとも認識しております。したがって、オリンピック・パラリンピック競技大会の推進本部会議で検討を行ってまいります。



中山 欽哉議員

平成28年度の当初予算と取り組みについて

■問 3年連続開催のツール・ド・フランスさいたまクリテリウムは3年前、最終支出額が5億円を超え、2回目3億5千万円、3回目3億5千万円とトータルで10億円を超える税金を、市長がやりたい独自事業に投入された。観客数も、初年度20万人。2年目15万人。3年目が9万5千人と激減傾向にあります。経済効果も極めて疑わしい状況である。市長の独自事業に対する認識と市長の理解を伺います。

■答 これからの5年、10年が重要で、将来を見据え、人口減少社会に対応するため、定住人口、交流人口を増やすための独自施策は重要であると考

会派を代表しての質問

えております。市民への出前講座、タウンミーティングを通じて意見を聞くなど、今まで以上周知に努めてまいります。

LRT（東西交通大宮ルート）導入について

■問 市長の決意について伺います。

■答 LRT東西交通大宮ルートにつきましては、「交通網の拡充」のための大変重要な方策の一つであるというふうに認識をしているつもりです。LRTなどのコンパクトな交通システムが有効であると考えており、これまでの調査検討については、LRTによる整備を前提に行っております。また、交通政策審議会への対応についても、LRTの意義、必要性及び効果を提案してまいりました。引き続き、検討を進めてまいります。



鶴崎 敏康議員

環境行政について

■問 サーマルエネルギーセンターについて伺います。

■答 老朽化が進んでいる西部環境センターと東部環境センターを統廃合し、新施設を現在の東部環境センターの位置に整備し老朽化した施設の更新、再編はもとより、廃棄物の処理の過程で回収できる熱エネルギー等を最大限活用することを目的とするものでございます。サーマルエネルギーセンターという名称は、熱という意味で、従来のごみ焼却施設のように、単に廃棄物を安全かつ安定的に処理することにとどまらず、より熱エネルギーの有効活用を最大限目指していくという意味を込めたものでございます。



<http://www.jimin-saitamacity.jp/>

私たちの考えは、ホームページをご覧ください。ご意見等をお待ちしています。

自由民主党さいたま市議会市議団

検索

会派を代表しての質問

さいたま市のまちづくりについて

問 市内企業の育成の考え方について伺います。

答 市内の建設業者につきましては、災害時における緊急対応等にも協力をいただいているところです。都市基盤・インフラの整備でもあります建設工事は、市内本店事業者への発注を原則としてきたところです。市内業者の育成、地域経済を支える人材の育成、就労機会の創出など、地域経済の活力を高め、さいたま市が持続的発展と活力ある未来に繋がるものと考えているところです。

さいたま市の安全について

問 本市の客引き等防止条例制定の考えについて伺います。

答 繁華街で市民等が不安、また不快な思いをさせられることのないように、客引き行為を規制し、誰でも安心して通行し利用することができる環境を整えていく必要があると考えているところです。平成28年度中に地域の状況を踏まえた条例の制定を目指してまいりたいと考えております。



伊藤 仕議員

議案外質疑



青羽 健仁議員

- 財政について
- 未利用地の活用について
- 見沼三原則の規制について



土橋 勇司議員

- さいたまクリテリウムを3年間実施したことによる経済効果について
- さいたま市の観光振興について



萩原 章弘議員

- 学級編制について
- 目的と現状、権限について
- 新入学児童生徒への配慮について



高子 景議員

- 日本遺産について
- 市の見解・取り組みについて



都築 龍太議員

- 未来くる先生について
- 現況と内容について
- 今後について



新井 森夫議員

- 消防力整備について
- 高層建築物の消防活動について
- 予防規制について



金井 康博議員

- 起震車について
- 高齢者等への配慮について
- 自治会集会所整備事業の補助制度について
- 高齢化社会へ向けての制度改革について



野口 吉明議員

- 環境行政廃棄物について
- 収集と分別
- 市内最終処分場の現状と利用計画



石関 洋臣議員

- さいたま市立病院の外來患者について
- 待ち時間の現状と原因について
- 待ち時間短縮に向けた取り組みについて



稲川 智美議員

- シルバーポイント事業のアクティブチケットの活用について
- 障がい者・児施設の開設に対する本市の支援策について



井原 隆議員

- 新大宮上尾道路の進捗について
- さいたま新都心における、新病院開業に伴う交通状況等の変化について



新藤 信大議員

- 防災拠点としてのセントラルパークの整備計画について
- 治水対策について
- 改修を必要としている水路、河川について

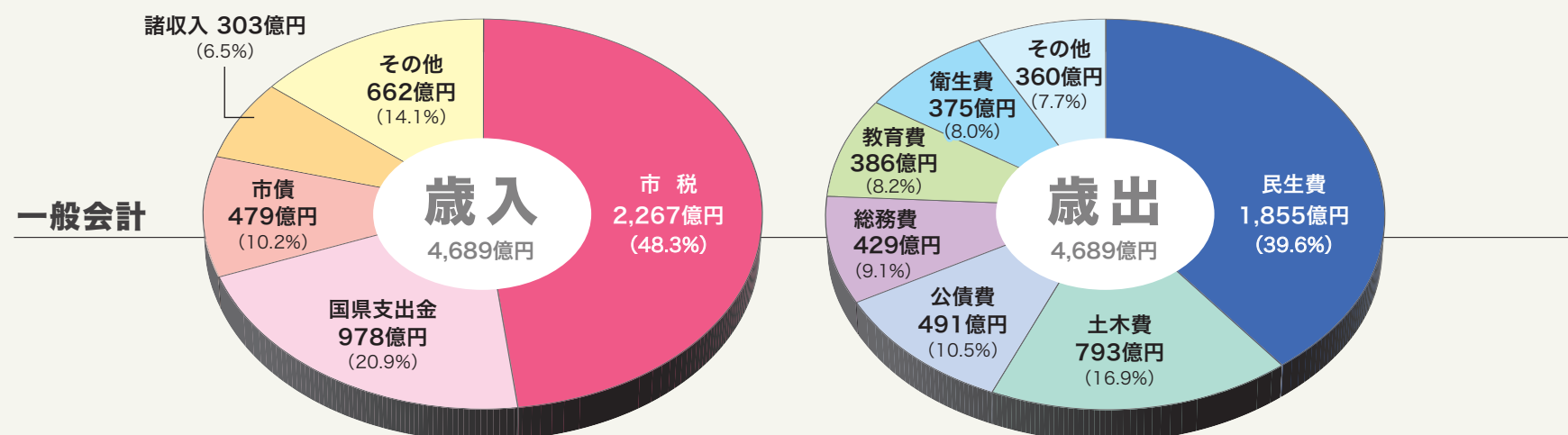


玉井 哲夫議員

- まちづくりにおける遊歩道の位置づけについて
- 与野駅東口駅前広場等整備について
- 整備手法の検討状況と今後の見通しについて



平成28年度さいたま市の予算



主な事業

①【次代を担う人材をはぐくむ「若い世代をアシスト」】

- 1 放課後児童健全育成事業 2,345,794千円
待機児童の解消を図るため、放課後児童クラブの安定的な運営を支援することにより、入所児童数を拡大
- 2 (仮称)さいたま市子ども総合センター整備事業 1,829,060千円
子ども・家庭を取り巻く課題に総合的に取り組み、子ども・家庭、地域の子育て機能を総合的に支援する、さいたま市らしさを生かした中核施設として、(仮称)さいたま市子ども総合センターの建設工事を実施
- 3 特定教育・保育施設の整備による定員拡大 3,410,801千円
保育所等利用待機児童の解消を図るため、賃貸物件による保育所整備の補助を新たに拡充するなど、保育需要の高い地域において保育所等を整備し、定員を拡大

②【市民一人ひとりが元気に活躍する「スマートウエルネスさいたま」】

- 1 さいたま国際マラソン開催事業 280,264千円
市民マラソンにより健康増進を図るとともに、世界トップレベルの選手の走りを体感することで、市民のスポーツに対する意欲、関心を高め、「スポーツのまち さいたま」を国内外にアピールできる市民マラソンと国際女子マラソンを「さいたま国際マラソン」として同時開催
- 2 健康マイレージ事業 135,331千円
市民の継続的な健康づくりを支援するため、歩数や体組成計データを蓄積し、歩数等に応じてポイントを付与する健康マイレージ制度を開始
- 3 高齢者生活支援体制整備事業 56,262千円
地域の実情に応じた高齢者に対する生活支援サービスを提供できる体制を構築するため、市内すべての日常生活圏域にコーディネーターを配置し、協議体を設置

③【新しい価値を創造し、革新(イノベーション)する「産業創出による経済活性化」】

- 1 オリンピック・パラリンピック競技大会支援事業 17,344千円
東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、市民・有識者・関係団体等で構成する支援会議を設置し、大会までの行動計画を策定することで、官民一体の協働体制により、大会支援を推進

- 2 就職支援体制整備事業 47,448千円
就労支援拠点施設を国と共同で運営し、国の職業相談・紹介と連携した就職支援事業及び女性の再就職に役立つセミナー等を実施
- 3 世界盆栽大会推進事業 34,329千円
本市の観光資源である大宮盆栽や盆栽村をPRするとともに、平成29年4月に開催する第8回世界盆栽大会に向け、イベントを実施する等積極的な広報活動を展開

④【自然と共生しながら、都市の機能を向上する「上質なくらしを実現できる都市」】

- 1 地下鉄7号線延伸促進事業 17,109千円
地下鉄7号線延伸の事業着手に向け、都市鉄道等利便増進法の適用要件をクリアするために、埼玉県と共同で建設コストの縮減や運行形態などに配慮した計画設計を行うとともに、「さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会」の活動を支援
- 2 身近な公園整備事業 1,695,248千円
都市公園の適正な配置・整備に向けて、身近な公園が不足する地域を重点に、歩いて行ける範囲に身近な公園整備を推進
- 3 自転車通行環境整備事業 300,308千円
自転車が安全で快適に走行できる通行環境の整備を推進

⑤【みんなで安心を支える「安心減災都市」】

- 1 セーフコミュニティ推進事業 4,617千円
市民が安全に安心して暮らせる地域社会を実現するため、WHOが推奨するセーフコミュニティの認証取得に向けた事業の推進
- 2 流域貯留浸透事業 163,620千円
降雨が短時間で河川に集中し、浸水被害を起こす可能性が高まっているため、公共施設(小中学校・公園等)に降った雨を一時貯留、浸透させる施設を設置
- 3 水位情報システム構築事業 177,702千円
豪雨時における適切な水防活動に資するため水位情報を正確かつ迅速に収集する監視システムを構築
- 4 下水道浸水対策事業 4,861,283千円
浸水被害の軽減を目的とした雨水幹線及び貯留施設等のハード対策を引き続き実施するとともに、市民の自助及び共助の促進を目的としたソフト対策を充実